

事務事業名	松笠ふるさと活性化センター解体撤去事業	所属部	掛合総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画体系	政策名	(I)みんなで築くまち<<協働・行政経営>>	所属G	庶務グループ	課長名	石飛和宏
	施策名	(05)時代にあった行政サービスの実現	担当者名	佐藤伊知郎	電話番号	0854-62-0300
	目的:対象	行政機能	意図	公平で効率的なサービスを提供する。	(内線)	4504
	基本事業名	(015)市民に親しまれる窓口サービスの提供	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	公共施設管理事業	
目的:対象	行政機能	意図	市民に親しまれる窓口をつくる。	項 目 中事業 中事業名	公共施設解体撤去事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
統合により地域に残った旧松笠小学校(松笠ふるさと活性化センター)全施設の解体工事
校舎棟 木造2階 586㎡ 体育館棟 鉄骨造1階 374㎡ 他

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)		27年度計画(27年度に計画する主な活動)			
		松笠ふるさと活性化センター解体 ・地元協議 ・実施設計、発注 ・工事管理 ・完了検査、支払					
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	ア 解体施設	施設			1		
	イ 解体予算	千円			35,000		
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	該当施設(旧小学校建物)	ア 解体施設	施設			1	
	イ						
	ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
・解体撤去を行うことにより施設管理が不要になる。 ・解体後の跡地は真砂土整地し既存のグラウンドと併せ交流センターの多目的広場として活用。	ア 解体施設	施設			1		
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
解体工事 30,409千円 跡地整備工事 3,563千円 し尿便槽解体処理手数料 86千円	財源内訳	国庫支出金	千円			16,985
財源充当		県支出金	千円			
社会資本整備総合交付金 16,985千円		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円		17,073	
		事業費計(A)	千円		34,058	
	人件費	正規職員従事人数	人			3
		延べ業務時間	時間		180	
		人件費計(B)	千円		700	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		34,758	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
掛合町地域自主組織連絡会議における協議により、小学校統合後の施設をふるさと活性化センターと位置づけ、旧交流センターと併せ地域活動施設として活用してきた。波多・入間は交流センターへ改築され、多根・松笠は交流センター新築により廃止を計画。	ふるさと活性化センター管理事業及び交流センター整備事業の中で廃止・解体に向け協議。	解体後の跡地について、既存グラウンドと併せ交流センターの多目的広場としての地域活動利用が計画されている。

事務事業名	松笠ふるさと活性化センター解体撤去事業	所属部	掛合総合センター	所属課	自治振興課
-------	---------------------	-----	----------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業完了。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	理由	事業完了。
	<input type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由	事業完了。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業完了。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業完了。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益・負担はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
			目的を果たした公共施設1施設の解体を行った。業者・地元組織とも連携を密に行い計画より早期に事業完了することができた。

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
事業完了。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		